

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画
の評価について

到達度凡例

平成30年度比	矢印
目標値超	↑
上昇	↗
維持	→
下降	↘

第3次 熊本市食の安全安心・食育推進計画における「食の安全安心の確保」の評価

<食の安全安心の確保>

区分	項目	H30年 基準値	R5年速報値及び R4の実績値（※）	R5年度 目標値	到達度	評価	出典
施策の取り組みに関する指標	1 生産履歴記帳実施農家数	5,070戸	3,651戸※	5,000戸	↘	H30年度比で減少	農業支援課事業実績
	2 食品営業施設の監視指導ポイント数達成率	86.7%	39.4% ※	100%	↘	コロナ禍による行動制限のため減少	食品保健課事業実績
	3 食品の収去検査実施率	96.8%	41.0% ※	100%	↘	コロナ禍による行動制限のため減少	食品保健課事業実績
	4 衛生講習会の受講者数	9,405 人	1,616人※	10,000 人	↘	コロナ禍による行動制限のため減少	食品保健課事業実績
	5 熊本市HACCP適正普及推進事業	-	15 施設※	30 施設	↗	令和3年度食品衛生法の改正に伴い、令和5年度までの限定事業として、HACCP導入支援のために実施	食品保健課事業実績
	6 HACCPについて知っている市民の割合	8.8%	14.1%	20%	↗	H30年度比5.3%増加したが、目標値まで達していない。	市民アンケート
	7 熊本市食品安全情報ネットワークでの情報発信数	28 回	22 回※	24 回	↘	自主回収情報及び苦情相談の概要、収去検査の結果等を毎月送付している。コロナ禍により収去の実施数が少なく報告数が減少した。	食品保健課事業実績
	8 地下水の水質監視割合	100%	100% ※	100%	↑	原則100%の監視（約200か所）を継続している	水保全課事業実績
	9 健康危機管理研修会の開催数	1 回	1 回※	1 回	↑	平常時は1回、緊急時は複数回実施	医療政策課事業実績
	10 食品衛生指導員巡回施設数	1,424 件	586 件※	1,500 件	↘	コロナ禍による行動制限のため減少	食品衛生協会事業実績
	11 健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催数	3 回	3 回※	2 回	↑	健康くまもと21推進会議1回、食の安全安心・食育部会2回	健康づくり推進課、食品保健課事業実績
	12 食に関するホームページへの情報掲載数	48 回	13 回※	50 回	↘	安全安心のひろばへの掲載数は減少したが、熊本市ホームページへの掲載を実施した。	食品保健課事業実績
	13 食品苦情相談への対応数	363 件	333 件※	-		H30年度比ではほぼ横ばい	食品保健課事業実績
市民の意識行動に関する指標	14 食の安全性確保のために意識して実践していることがある市民の割合	65.9%	68.2%	80%	↗	H30年度比2.3%増加しているが、目標値まで達していない	市民アンケート
	15 食品を購入する際に表示を確認している市民の割合	79.1%	73.3%	90%	↘	H30年度比5.8%の減少	市民アンケート
	16 食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	60.5%	65.4%	75%	↗	H30年度比4.9%増加したが、目標値まで達していない	市民アンケート
	17 食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	53.0%	52.2%	60%	↘	H30年度比0.8%の減少	市民アンケート
	18 災害に備えて飲料水や食糧を7日以上備蓄している市民の割合	7.7%	9.5%※	増加	↑	H30年度比1.8%の増加	総合計画市民アンケート
食の安心感に関する指標	19 重篤(死亡者発生)または大規模(有症者50人以上)食中毒発生件数	0 件	0 件※	0 件	↑	重篤(死亡者発生)または大規模(有症者50人以上)食中毒については、H28年度以降発生無し	食品保健課事業実績
	20 食品の収去検査における違反件数	0 件	2 件※	0 件	↘	食品衛生法違反1件、食品表示法違反1件	食品保健課事業実績
	21 食品について安全性が高まってきていると感じている市民の割合	63.7%	61.4%	65%	↘	H30年度比2.3%の減少	市民アンケート
	22 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	48.6%	50.1%	40%	↘	H30年度比1.5%の増加	市民アンケート
	23 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	54.7%	55.7%	40%	↘	H30年度比1.0%の増加	市民アンケート
	24 「食品の不正(偽装表示)」について不安を感じる市民の割合	44.0%	44.7%	40%	↘	H30年度比0.7%の増加	市民アンケート
	25 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	55.8%	50.4%	40%	↗	H30年度比5.4%減少したが、目標値まで達していない	市民アンケート

②③④⑤は「不安を感じる市民の割合」のため、値が下がるほど目標値に近づくという評価になる。
※は令和4年度の実績値

第3次 熊本市食の安心安全・食育推進計画における「食育の推進」の評価

<食育分野>

No.	項目	H30 基準値	R5 速報値	R5 目標値	到達度 (H30比)	評価	出典	
1	食育に関心がある市民の割合	77.1%	88.2%	90%	↗	関心度は11.1%増加したが、目標値(90%)には達していない。	市民アンケート	
2	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	11回	現状維持	↑	共食回数は2回増加しており、目標値(現状維持)を上回った。	市民アンケート	
3	1週間あたりの朝食について	幼児	97.3%	96.7%	100%	↘	朝食欠食率が改善したのは、中学2年生と若い世代【20歳代・30歳代】、65歳以上であり、幼児、小学5年生は欠食している割合が増加していた。幼児期からの朝食習慣の定着のため、親世代への啓発を引き続き行っていく必要がある。	市民アンケート
	※幼児は「毎日食べる割合」	小学5年生	1.7%	*1.9%	0%	↘		健康教育課
	※他は「ほとんど食べない」と答えた割合	中学2年生	4.2%	*2.5%	0%	↗		健康教育課
	若い世代【20歳代・30歳代】	18.5%	13.4%	10%以下	↗	市民アンケート		
	65歳以上	3.4%	2.4%	0%	↗	市民アンケート		
4	体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	100%	*100%	100%	↑	公立保育園は、継続して全ての園で実施されており、目標値を達成している。私立保育園は2.3%増加したが、目標値(100%)には達していない。	保育幼稚園課
		私立	87.2%	*89.5%		↗		保育幼稚園課
5	体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	100%	*100%	100%	↑	幼稚園は、公立私立ともに継続して全ての園で実施されており、目標値(100%)を達成している。	指導課
		私立	100%	*100%		↑		私立幼稚園協会
6	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	*82.0%	100%	↘	割合が12%減少しているが、コロナ禍により懇談会等で啓発する機会が減少したためであり、今後は増加していく見込みである。	健康教育課	
7	企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)	20件	*3件	30件	↘	件数が17件減少しているが、コロナ禍により講座を開催する機会が減少したためであり、今後は増加していく見込みである。	各区保健子ども課 実績報告	
8	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	77.6%	85%	↗	割合は1.5%増加したが、目標値(85%)には達していない。	市民アンケート	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	64.0%	74.8%	75%	↗	割合は10.8%増加したが、目標値(75%)には達していない。	市民アンケート	
9	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	70.1%	80%	↗	割合は6.7%増加したが、目標値(80%)には達していない。	市民アンケート	
10	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を継続して実践している市民の割合	34.3%	31.7%	50%	↘	若い世代【20歳代・30歳代】の割合は増加しているが、全体では減少している。全世代への周知啓発を引き続き行っていく必要がある。	市民アンケート	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	22.5%	23.4%	25%	↗		市民アンケート	
11	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	*1829人	1,850人	↗	ボランティア数は293人増加したが、目標値(1850人)には達していない。	健康づくり推進課	
12	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	*218店舗	250店舗	↗	店舗数は1件増加したが、目標値(250店舗)には達していない。	健康づくり推進課	
13	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	*22.7%	70%	↘	割合が39.9%減少しているが、コロナ禍により連携活動を行う機会が減少したためであり、今後は増加していく見込みである。	健康づくり推進課	
14	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	605 (H28実績値)	*768	776	↗	通いの場数は163件増加したが、目標値(776)には達していない。	高齢福祉課	
15	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	32.4%	50%	↘	コロナ禍であったが、農林漁業体験を経験した市民の割合は、ほとんど変化がなかった。目標値(50%)には達していない。	市民アンケート	
16	進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	59.6%	80%	↘	割合が14.2%減少しているが、物価高騰の影響により地元農産物の価格が高いということが一因として考えられる。	市民アンケート	
17	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万円	*3,258百万円	3,339百万円	↗	販売額は322百万円増加したが、目標額(3,339百万円)には達していない。	農水ブランド戦略室	
18	学校給食における地元農産物の使用割合	38.2%	*39.2%	43%	↗	割合は1.0%増加したが、目標値(43%)には達していない。	健康教育課	
19	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	58.9%	80%	↘	割合が11.0%減少しており、くまもとの食文化を次世代に継承していくための周知啓発を引き続き行っていく必要がある。	市民アンケート	
20	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	74.6%	77.2%	85%	↗	割合は2.6%増加したが、目標値(85%)には達していない。	市民アンケート	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	68.5%	78.5%	75%	↑	割合は10.0%増加し、目標値(75%)を上回った。	市民アンケート	
21	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	81.3%	85%	↗	割合は0.6%増加したが、目標値(85%)には達していない。	市民アンケート	
22	「もったいない!食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	108店舗	200店舗	↗	店舗数は36件増加したが、目標値(200店舗)には達していない。	事業ごみ対策課	
23	災害に備えて飲料水や食料を7日以上備蓄している市民の割合	7.7%	*9.5%	増加	↑	割合は1.8%増加した。引き続き割合が増加するよう防災食育教育等の機会を充実していく。	総合計画市民アンケート	

*R4年度の実績値